

地域と共に歩む 学校づくりに向けて

能生中カリキュラム

2025 年度グラントデザイン

重点目標 「自ら学習に取り組み、協力して学ぶ生徒の育成」 「思いやりと感謝の心を行動にうつすことのできる生徒の育成」 「自ら考え、心と体を鍛える生徒の育成」

- 満点学習
- 心地よい反応
- 地域に貢献

自ら学習に取り組み、 協力して学ぶ生徒の育成

- 1 意欲をもって自ら学び、他との関わりの中で自分の考えを深める生徒
 - 基礎学力の定着。家庭学習は、「60分＋学年×10分」以上
 - 定期テストを軸とした学習習慣づくり(目標・計画・反省・改善)
 - 検定や基礎学力テスト等への積極的な挑戦
- 2 進んで考え、進んで表現する学習活動の工夫
 - ねらいを明確にし、個々の生徒が活躍できる授業づくり
 - 「分かる」・「楽しい」・「学び合える」授業の実践
 - 教科横断的な学習による学びの連鎖
- 3 「子ども一貫教育方針」に基づく教育活動の推進
 - 一人ひとりの目標を明確にさせ、中学校区で共通理解した学習指導の徹底
- 4 ジオエリア学習の推進
 - 地元のジオエリアを探究し、ふるさと「いといがわ」を愛する心の育成
 - 「地域とつながる」学びにより、「故郷力(ふるさと力)」の向上
- 5 「学力向上いといがわプラン」との関連
 - 学習規律「学習5原則」の共通実践と学ぶ意欲の向上

学力向上

知

教育目標

ゆ め ま こ と ち か ら

夢 真 力

自主と進取の
志をもつ生徒

凡事徹底

心

思いやりと感謝の心を行動にうつすことのできる生徒の育成

- 先手挨拶(小中高地域挨拶運動)
- 感謝の連鎖(いじめ見逃しゼロ)
- 地域に貢献(コットンプロ、花街プロ)

- 1 思いやりのある言動
 - ★心で人と関わる
 - 進んで挨拶をする(仲間・地域・来客)
 - 思いやりと感謝の気持ちを育てる学級活動と道徳の授業の展開
 - ★話合いで分かり合い、高め合う
 - 話合い活動の充実(授業・学級の時間・専門委員会)
- 2 互いの絆を深める活動
 - ★生徒会を中心として
 - 生徒によるSDGs活動の推進、SNGs活動の具現化
 - いじめ見逃しゼロスクール集会を中核とした人権教育、同和教育や日常活動の充実
 - 体育祭・能生中祭の2大行事を中心とした生徒会行事の充実
- 3 個に応じた一貫した指導体制の確立
 - ★能生中学校区小中の連携を中心として
 - 9年間を通じての個人カルテやキャリアパスポートを利用した情報の共有化

豊かな心

体

自ら考え、 心と体を鍛える生徒の育成

- 1 正しい生活習慣、健康なからだづくり
 - ★健康で過ごせる生活を自分でつくる
 - 家庭での望ましい生活習慣づくり(家庭学習時間の確保)
 - KYBカードによる自己管理
 - 正しい食習慣によるパワーアップ
 - メディアコントロールによる学力アップ
- 2 みんなで体力向上・望ましい集団づくり
 - ★自分で高める・チームで高め合う
 - 体育授業で体力向上のための具体的な手立て
 - 最後までやりぬく心と体づくり(部活動)
 - リーダー、フォロアーの育成を通して、より高め合う学校集団の構築(部活動)
- 3 小中一貫した連携による体力の向上
 - ★課題の共有、手立ての明確化
 - 県体力テストを基に、具体的な手立てを小中で探る。

健康な心身

- 先手挨拶
- 心地よい反応

保護者の皆様へ

- 学校・生徒の様子を積極的にお知らせします。
 - ・学校だより等各種たよりの発行、ホームページの充実、LEBERメッセージの配信
- 教育活動についての意見や評価をしていただきます。
 - ・学校評価アンケート ・期末面談

コミュニティ・スクール(学校運営協議会)

- 学校運営の基本的な方針の承認
「学校経営計画」「教育課程の編成」「学校組織の編成」に関する熟議と方向性の共有、承認
- 運営に関する評価と情報提供
学校の運営状況等について毎年度1回以上評価を行い、保護者や地域住民に協議会の活動状況を公開する。

糸魚川市地域学校協働活動

- 学習活動への参画
専門的な知識・技能のある教育ボランティアの活用によるふるさと学習(ジオエリア学習)の推進
- 地域貢献活動への参画
挨拶運動、コットンプロ、花街プロ、ぎおん灯籠への協力

